

◇ 鳥海山・白神岳他

2017年10月4日(水)～9日(日)

岡本

10/4、名神・北陸道を乗り継ぎ、酒田市まで走る。16時過ぎに市内のホテルに入り、明日からの山行に備える。ずぼらな性格の所為で、初日からコンビニ弁当で済ます。

10/5、今日は昨年雨で登れなかった鳥海山を目指す。予報では今日は晴の筈だが、朝から曇曇っていて、外気温も8℃とひんやりしている。鳥海山中腹から上は雲で、何となく嫌な感じ。鉾立登山口まで約40分、駐車場からはガスのため殆ど山は見え、今後の天気回復を期待し出発。

歩き出すと霧が少し晴れてくる。コースもよく整備されており、歩きやすい。少し行くと展望台があり、紅葉が綺麗に見えるが、曇っているため色は映えない。それでも尾根道は一面紅葉で、気持ちよく歩ける。一時間余りで賽ノ河原に出、この辺りから残雪が残り、ガスと風も強くなる。そこから20分余り歩くと御浜小屋に着く。ここで多くの登山客いて、そこにいたガイドに聞くと、行けても七五三掛辺りまでで、外輪山から新山へは行くのは危ないとのことだ。が、折角ここまで来て戻るのも悔しいので、取りあえず先へ行くこととする。



(紅葉の登山道)

七五三掛までの間に、3組が引き返してきて、若い2人組だけが外輪山の方へ行ったとのこと。千蛇谷へは急斜面で誰も入っていないとのことだったが、視界も徐々に良くなってきたので、ガイドのアドバイスもあり千蛇谷から新山を目指すことにする。急斜面を下りきって登り出す頃から天気が急回復、谷底から外輪山や新山が綺麗



(千蛇谷から外輪山を望む)



(千蛇谷への下り、新山方面)

に見える。写真では移しきれない綺麗な景色で、これだけでも来た甲斐があったと言う感じだ。

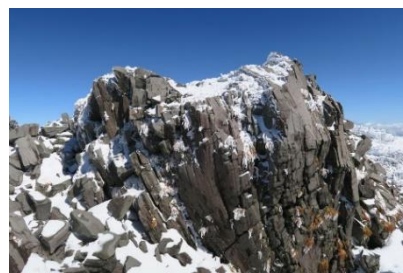
千蛇谷から大物忌神社のある御室まで標高差で350m程あり、新雪でルートがはっきりしないものの、視界も利き、初めての山であるが、大きくコースを外すこともなく、無事御室に着く。神社の横に山頂という矢印があるのだが、そちらの方へ行ってもガイドに書いてあるペンキの印は見つからず、適当に登る。しかし、岩の切り立ったガレ場で、足場になるところには雪が付着していて難渋する。上部まで行くと同じような岩のピークがいくつもあり、どれが山頂か分からない。適当に行くが、中々頂上が分からない。



(人の気配のない大物忌神社)



(登るが山頂でなし)



(これも山頂でなし)

漸く、山頂にペンキの文字があり、岩の少し下に消えかかったペンキで薄らと鳥海山と書いてある頂上らしき岩を見つかる。が、そこから前は切り立った断崖で、もう一度下の方まで下り登り返す必要がある。思案するが、時間やガスが湧き上がりつつあり、ここで断念し、一旦御室まで戻る。折角なので、帰りは外輪山経由にしようと思ったが、標識はあったがルートは見つからず。急峻な危険表示のある岩場でもあり、これも断念。行きと見違えるほど雪の溶けたルートを引き返す。その頃には外輪山もガスの中で、賽ノ河原辺りまではどんよりとした天気。そこから徐々に日が差し、



(漸く山頂発見)



(ここを下りないと行けず)



(漸く山頂発見)

再び、紅葉を楽しみながら下山。駐車場に着く頃には快晴となり、新雪の美しい鳥海山が綺麗に見える。



(紅葉の登山道を戻る)



(名残を惜しみ振り返る)



(駐車場より初冠雪の鳥海山)

<コースタイム>

7:05 登山口→8:13 賽ノ河原→8:36 御浜小屋→9:43 千蛇谷分岐→11:12 御室→11:37 山頂辺り
→12:08 御室→13:17 千蛇谷分岐→14:13 御浜小屋→15:23 登山口

10/6、早朝に大潟村のホテルを出発し、白神岳登山口に向かう。70 km近く離れているが、一般道でも信号は殆どなくスイスイ走れる。白神岳周辺の宿は少ないが、能代から大潟付近のホテルで十分だ。

7時前に駐車場に着く。そこから林道終点まで7～8分歩くと登山届のボックスのある登山口に出る。二股分岐まで少し歩くと、突然木の枝が揺れ、猿が威嚇している。何度か猿の威嚇を受けていると二股分岐に着く。ここまでは大した登りもなくのんびり歩けるが、紅葉はない。



(標高 900m位から徐々に紅葉)

二股を過ぎると所々急な登りとなる。最後の水場を過ぎると急な坂道が続き、登り切ると鯉山分岐に着く。この辺りで少し色づいている程度だ。そこから、なだらかな尾根道が続くが樹林



(1000m付近で漸く遠望)



(左、避難小屋、右、白神岳山頂)

帯の中で眺望は殆ど無い。曇天の所為もあり、紅葉もイマイチの感じだ。標高 1000m を過ぎる辺りから樹林帯を離れ展望も利くようになる。天気さえ良ければ結構綺麗な紅葉が楽しめそうだが、どんよりした曇り空では致し方ない。

程ほどに景色を楽しみながら、暫く続く急な坂を登り切ると十二湖分岐だ。そこから白神岳山頂までなだらかな道が続き、日本海や岩木山、八甲田山辺りがよく見える。山頂小屋は、別棟の綺麗なトイレもあり、避難小屋としては中々快適な感じだ。小屋の少し先に、360 度の展望の利く、三角点と山頂標識がある。ここで少し休んで下山する。折角の白神岳だが、天候の具合もあり、イマイチの印象だった。



(尾根から南西方向)



(五能線十二湖駅方面)

難小屋としては中々快適な感じだ。小屋の少し先に、360 度の展望の利く、三角点と山頂標識がある。ここで少し休んで下山する。折角の白神岳だが、天候の具合もあり、イマイチの印象だった。

<コースタイム> 7:10 駐車場→7:18 登山口→7:39 二股分岐→8:45 蟻山分岐→

9:57 十二湖分岐→10:09 山頂→12:59 登山口

10/7、例会山行グループと栗駒山で合流予定であったが、生憎の雨、沈殿。仕方なく、田沢湖から小岩井農場経由で、夕方、例会グループのテント泊予定地のいわかがみ平で合流。



(田沢湖の証拠写真)



(安達太良山薬師岳からの紅葉)

10/8、快晴。駐車場でご来光を見て例会グループと栗駒山を周遊。その後、福島市内のホテル泊。

10/9、ホテルを午前4時発、安達太良山駐車場で合流するも、遅いので単独出発。山頂まで行き、帰りはゴンドラで下山。そのまま渋滞に巻き込まれず、午後6時帰宅。